

植物の観察・調査

国立花山青少年自然の家

1 活動の概要及びねらい

フィールドに植生する四季折々の植物を観察、スケッチし、特徴的な植物を調査します。また、その結果について発表したり考え合い、植物を大切に作る心情を養います。

2 時期・時間・活動場所

4月～11月・2～3時間・御駒山、あなぐまコース、自然の家周辺等

3 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者で準備する物
コース地図、ルーペ、図鑑等	軍手、筆記用具、観察用紙等

4 実施例

- 1 つどいの広場で、コース・時間・観察テーマについて事前説明します。
- 2 フィールド内の植物を観察・調査します。

<活動展開例>

- ① 直接指導タイプ
指導者が先導しながら全コースを解説します。
 - ② ポイント指導タイプ
解説を要するポイント数箇所に指導者を置きます。
 - ③ 課題配付タイプ
課題等を配付し、それに基づきながら観察します。
 - ④ プレートタイプ
観察させたい箇所に「課題」や「観察のポイント」等を前もって配置します。
 - ⑤ 自由観察活動タイプ
グループの話し合いによって、観察テーマを設け観察します。
- 3 グループ内で観察・調査した結果をふりかえります。
 - 4 グループ代表が全体に向けて観察・調査した結果を発表します。

5 留意点

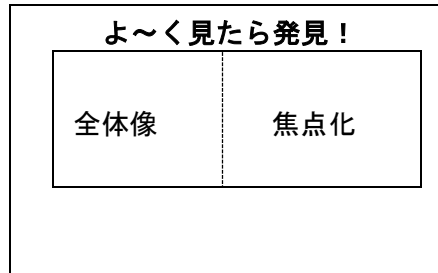
- ・植物を採ったり木を折ったりしないでください。
- ・ゴミは必ず持ち帰ってください。
- ・自然界の生き物を驚かさないようにしてください。
- ・土や落ち葉をめくったら必ず元どおりにしてください。
- ・時間をたっぷりとり、じっくりと観察させる。
- ・うるし、スズメバチ、マムシ等には注意してください。

【他の観察・調査方法】

- 1 植物の名前にこだわるより、どのような形、色、種類があるかを中心に観察させましょう。観察活動に「五感をつかった観察」等も取り入れましょう。

「よ〜く見たら発見！」（視覚）
「よ〜くさわってみたら発見！」（触覚）
「よ〜くにおいをかいだら発見！」（嗅覚）
「耳をすましたら発見！」（聴覚）
「味わってみたら発見！」（味覚）

※触覚、味覚に関しては注意すること。



- 2 昆虫観察や鳥類観察等の方法とも併せて観察させてもよいです。植物の観察だけでは、集中して観察できる時間に限度があるので、対象者の発達段階を考慮して時間や 活動内容を設定しましょう。ネイチャーゲーム等も途中に取り入れることも考えてみましょう。

【参考資料】

「花山の花暦」を参考に観察・調査をすることが効果的ですが、天候等により若干観察の時期が異なるので、参考資料として活用してください。

（しゃくなげ15-1「花山自然体験プロジェクト調査研究報告書」）参照

